

あすかかんぱにー

アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323



公式サイト

プリンの特製容器や歯磨き粉のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。社員の個性を尊重しながらやりがいを持って働けるよう成長の機会を用意しています。

- 👑平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑ユースエール認定企業
- 👑くるみん認定企業
- 👑プラチナくるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

任されながら成長できる会社



「あ！コソ知ってる！」そんな製品を造っている会社です

営業本部プロジェクトマネジメント部の西脇千帆さんは入社7年目。カメラを使った製品チェックシステムを同業者に共有するセミ

ナー講師などの業務に携わっています。「初心者にも分かりやすくを心がけ、参加者からのセミナーを受講してよかったという声が届くようになる」と言います。

入社6年目、管理本部HRグループの畑瀬美早紀さんは入社間もない頃から新卒学生向け会社説明会でのプレゼンの役を任せられました。「年齢が近い社員の生の声に触れてもらい、ありのままを理解してもらおうように努めている」そうで、以前に比べ応募学生数が8倍に増えたそうです。2人に共通するのは、本人の適性を見ながら挑戦の機会を与えてもらい成長している点です。

転勤希望も二つ返事で承諾

2020年に結婚した西脇さんは夫の勤務地に合わせ大阪オフィスへの異動希望を上司に伝えたところ二つ返事で承諾されたとのこと。同年4月から大阪オフィスで従来と同じ業務を続けているそうで「個人の状況を尊重してもらえるので、もっと仕事を頑張ろうと思える」と言います。

同様に20年に結婚した畑瀬さんも、都合に合わせて有給休暇が取れるよう上司が気にかけてくれる点をありがたく思っているとのこと。「社長が一人ひとりの状況を把握して声をかけてくれる会社。今後は後輩を指導す



アスカで活躍する女性社員 畑瀬美早紀さん(左)と西脇千帆さん
る立場として気を使える先輩でいたい」と今後の抱負を語っています。

企業データ

■設立(創業)/1968年
■資本金/1億円

■売上高/36億円(2021年10月期)
■従業員数/257名

■平均年齢/36.1歳



姫路市飾磨区恵美酒213 錦ビル3階 ☎079-243-1777

エコリングは性別、世代を問わずだれもが働きやすい環境づくりを進めています。女性社員のチームが会社に要望を伝える場があり、毎年のように改善が積み重ねられています。

- 👑ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012
産業労働部長賞
- 👑成長期待企業
- 👑令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑えるぼし認定企業

女性社員チームの要望が制度に反映



「やりたいことをやらせてくれる会社です」と話す黒田由香さん

ブランド品を買い取り、再生して販売するリユース事業を柱とし、現在直営、フランチャイズ合わせて176店を展開しています。

2021年には、環境や従業員、コミュニティに配慮した公益性の高い企業に与えられる国際的な認証「B-Corp」を取得し、事業活動を通して社会課題を解決する取り組みを進めています。また、従業員満足度を高める活動として、より働きやすい環境づくりのための要望を話し合う女性社員のチームがあり、毎年会社に改善点を提案。子どもが小学校6年生になるまで時短勤務ができる制度や男性の育休制度、荷物を運ぶ負担を軽くするための段ボールの小型化などを実現させてきました。

若手社員を尊重する社風に感激

人事部で採用を担当する黒田由香さんは8年前に金融機関から転職した際「入社1年目ののに意見を尊重してくれ、やりたいことをやらせてくれたことに驚いた」と振り返ります。現在は小学生と保育園児の2人の子育て中で、子どもの送り迎えができるよう時短勤務制度を活用しています。「時短勤務でも負い目を感じることはないよう周囲がとても配慮してくれ、昨年は主任に昇進することができました」と笑顔を見せる黒田さん。「周りにはポジティブな社員ばかりでつられて前向きになれる。トライやるウィークなど地域に貢献できることをどんどん手がけていきたい」と意欲的に話しています。

もちろん女性だけではなく、男性社員の育休取得や声をあげた人の新規事業へのチャレンジに対しても会社として積極的にサポートしています。このように社員一人ひとりを大切に尊重してくれる社風だから、より一層仕事も頑張りたいと思えるそうです。



社員1人1人を大切に誰もが働きやすい環境づくりを進めています

企業データ

■設立(創業)/2001年
■資本金/1,000万円

■売上高/188億円(2021年度5月期)
■従業員数/409名

■平均年齢/34.0歳

こいずみせいま

小泉製麻(株)

神戸市灘区新在家南町1-2-1 ☎078-841-4141



公式サイト

2020年に創業130年を迎えた老舗企業だが女性社員による業務改善プロジェクトなどにより風通しの良い活気ある社風が生まれ、それが新商品を次々に生み出す原動力にもなっています。

👑令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

社会課題に応える新商品を次々に開発



130周年記念
キャラクター
「仔馬のこいちゃん」
も社員の発案で
誕生しました

1890年にジュート(黄麻)メーカーとして創業し、麻関連の包装資材などを製造してきました。近年は社会に必要とされる新商品の開発に注力。液体物流容器や農業用資材、緑化資材などで多彩な商品を送り出しています。

小泉康史社長が就任した2015年以降は社員がやりがいを持って働ける風土づくりに着手。コミュニケーションを活発にしながら、女性社員が働きやすい職場づくりを考える業務改善プロジェクトなどを推進してきました。

働きやすい仕組みを社員が提案、実現

同プロジェクトでは、一人ひとりの業務を見直して仕事を共有し合える体制を構築。子育て中で時短勤務を利用するCSセンターの小西裕子さんは、「繁忙期でも残業をせずに帰れるようになり、休暇も取りやすくなった」と話します。

社員の声が社内制度に反映されることも多くあります。経営戦略室の福山茜さんは、育休明けに遠方から通勤する同僚を見て「居住地の近くに拠点があれば負担なく働けるのでは」とシェアオフィスサービスの利用を会社に提案、20年3月から導入されました。折からのコロナ禍で活用が進み、在宅勤務にもスムーズにつながられたそうです。チーフの桑

田知子さんは「システムなどを活用し、さらに働きやすい環境を作りたい」と話します。

「一歩踏み出せる環境を整え、社会と社員にとって良い会社に成長させたい」と小泉社長は次なるステップに期待しています。



人の移動を支える道路や鉄道の整備に活用される商品も

企業データ

■設立(創業)/1890年
■資本金/9,800万円

■売上高/79億9,262万円(2022年5月期)
■従業員数/157名

■平均年齢/42.2歳



消防設備の設計施工・点検事業を行う神防社は、「建設業が働きやすい業界であることを率先して示したい」と話し、だれもが自分のやりたいことを実践できる会社を目指しています。

- 👑成長期待企業
- 👑令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス表彰企業
- 👑令和2年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるほし認定企業

女性活躍で建設業のイメージ向上



建設業界で女性ももっと活躍できる会社づくりを目指す

スプリンクラーや消火栓など消防設備を建物の特性に合わせ設計から施工までを一貫して手がける消防設備工事業として2008年に創業。現在は、消火設備を設置した建物に義

務付けられている消防設備点検事業や消防防炎用品の販売も手がけています。

「建設業のイメージを向上させたい」との思いから、女性社員を多数起用し、イメージ向上につなげています。2022年入社の倉田明利さんは企業PRのためSNSを用いた情報発信を担当し、自分の"得意"を生かした業務を任せていただいている」と笑顔を見せます。21年入社の藤井靖菜さんは、施工現場からでも各種申請が行えるようLINEによる自社システムを構築し、「建設業では遅れがちなワークライフバランスの向上に貢献したい」と話します。

だれもが主役になれる会社に

中途採用で21年2月に入社した営業担当の井内希さんは官公庁向けに各種消防用資機材販売をしており「自分が得意な危険物管理の知識も生かし、民間企業向けに設備点検の必要性を訴えていきたい」と話すなど、それぞれの得意分野を生かしながら働いています。

災害時に避難場所として活用できるウッドデッキ付き多目的スペースの販売など新規事業にも果敢にチャレンジしている神防社。過去には飲食に興味を持つ社員のため社内起業として2017年に飲食店「炭火酒場 STAND555 (ハハハ)」を開店。「だれもが



ウッドデッキ付き多目的スペース(左)・防災チップス(右)販売業主役になれる会社」を目指して同社のチャレンジはさらに続きます。

企業データ

■設立(創業)/2008年
■資本金/2,000万円

■売上高/13億8,113万円(2022年10月期)
■従業員数/80名

■平均年齢/34.0歳

さくらケーシーエス

(株)さくらケーシーエス

神戸市中央区播磨町21-1 ☎078-391-6571



公式サイト

システム開発を手がける同社では、従業員一人ひとりが個性・能力を最大限に発揮できる環境の整備に向けて、2015年にダイバーシティ推進室を設置。仕事と育児の両立支援制度の充実を図り、社内外への情報発信に努めています。

- 👑 令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑 くるみん認定企業
- 👑 プラチナくるみん認定企業

仕事も育児も全力で



岡本明子さん(左)と松井裕美子さん

同社では女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んできました。2021年度の育児休業取得率は女性従業員が100%、男性従業員

も47%となっています。

会計・人事給与システムを導入支援するシステムエンジニアとして働くリーダーの松井祐美子さんには2歳の子どもがいます。育休から復帰後はフレックス型シフト勤務制度を活用してフルタイムで働き、保育園に預けている子どもの発熱など、急な対応は夫と協力し合い、「できる方がやる」方針で臨んでいます。職場の理解もあり「仕事、育児どちらも気持ちを切り替えながら全力で向き合っている」と充実した表情で話します。

部下の成長にやりがい感じ

岡本明子さんは、21年4月、経費精算システムを開発するグループのグループ長に昇格しました。以前は自分が担当する仕事をやり遂げることに集中していましたが、「グループ長としてメンバー一人ひとりの仕事のやり方や悩みに気を配るようになり、部下の成長を感じられることがうれしい」と言います。

2人の子どもを持つ岡本さんは、子どもとの向き合い方は部下や顧客の対応にも通じるものがあると実感しており、「価値観は時代とともに変わるもの。だからこそ自分がどうありたいかを考え、貫くことが大切。そうすれば後悔はない」と若い世代の人たちにアドバイスします。



育児休業などを特集した、ダイバーシティに関する社内報「D'ou shin」

企業データ

- 設立(創業)/1969年
- 資本金/20億5,460万円

- 売上高/247億円(2022年3月期)
[連結]
- 従業員数/1,115名[連結]

- 平均年齢/43.7歳



姫路市青山北一丁目1番1号 ☎079-266-1200

モータ・ポンプメーカーの三相電機は、全員参加型の「改善オリンピック」や現場で働く女性の職場改善を目指すプロジェクトなどを通じ、従業員全員が働きやすい会社を目指しています。

- 👑令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

働きやすい職場づくり



田中課長(左)と楠担当課長

産業機器用モータや特注仕様ポンプなどを供給している三相電機。ポンプ技術を応用し、

魚の養殖用に酸素を液体に溶解する装置や、飲料用に海水を淡水化するユニット製品なども手掛けています。

同社では2013年、従業員全員が参加する「改善オリンピック」をスタート。2～3人のチームで毎月1件の改善を行い、それぞれの改善は「整理」「整頓」「清掃」「その他（アイデア、努力など）」の4項目で評価、全ての改善に点数をつけ、評価が分かるようにしています。評価されることで喜びを感じ、達成感を感じている従業員もいます。

現場で働く女性の声を生かし職場を改善

さらに現場で働く女性の職場改善のために5年前に発足したのが組立課の「女性改善プロジェクト」。立ち上げメンバーの楠敦子さんと田中夕妃さんは、同時期、女性管理職として課長補佐に昇進しました。プロジェクトでは、重量物を持ち上げやすくするための昇降機の導入や休憩室をフローリング仕様に変え、水槽や緑を置く環境改善などに取り組んでいます。「コミュニケーションをよくしていくことで率直な声を拾い上げ、さらに働きやすくなるようにしていきたい」と2人は話します。

「従業員全員が主役に」を掲げる同社。統括管理部長の榮永悟さんは「男女区別なく、



ミーティング中(女性改善プロジェクト)

従業員の声を生かす取り組みを続けながら、日々前進していく会社でありたい」と話しています。

企業データ

■設立(創業)/1957年
■資本金/8億9,300万円

■売上高/170億9,800万円(2022年3月期)
■従業員数/370名

■平均年齢/44.2歳

じえーしーあーるふあーま

JCRファーマ(株)

芦屋市春日町3-19 ☎0797-32-8591



公式サイト

医薬品開発で躍進を遂げるJCRファーマ。開発、研究職を中心に女性社員が多く、全体でも39.4%を占めています。管理職に占める女性の割合も12.0%を占め、着実に上昇しています。

- 👑 令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑 くるみん認定企業
- 👑 えるぼし認定企業

社内保育所の存在で安心して出産



JCRでは、ママ社員が多く活躍しており、仕事と家庭を両立できるよう頑張っています

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。

5歳、2歳の2人の娘を持つメディカルライティングユニット係長の高棹直子さんは、新薬の臨床試験に関わる文書作成業務に関わっています。1人目の出産時は当時所属していた研究本部（神戸市西区）に社内保育所があり、「育休から復帰する時に保育園に入れるかどうかを心配せずに済み安心できた」と話します。

在宅勤務を併用しながら仕事と育児を両立

4年前に異動した開発本部では「年齢を問わず、何でも言い合える風通しのいい社風」を感じています。2020年6月に2人目の出産後に取得した育休から復帰後は、コロナ禍であったこともあり週5日中4日の在宅勤務を行っていました。「通勤時間の節約になり、仕事も集中できる」とのこと。「同僚も子育て中の母親が多く働きやすい。上司もその1人で私にとっては憧れの働き方」と話します。同僚の男性社員の中にも育休を取得する動きが増えているそうで、人事企画部の柏原理沙さんは「さらに男性社員の育休取得を促すこ

とで、より理解し合える働きやすい風土をつくっていきたい」と話しています。



キッズランドでは季節のイベントなども実施しており、お子さんを安心して預けられる環境があります

企業データ

■設立（創業）／1975年

■売上高／510億82万円（2022年3月期）

■平均年齢／40.9歳

■資本金／90億6,186万円

■従業員数／797名



とーほーぐるーぷでは男女分け隔てなく働きやすい環境を整備しています。女性のリーダー、管理職も着実に増え、責任とやりがいを感じながら自分らしく働いています。

- 🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 🏆くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



神吉里奈さん(中央)がリーダーを務めるとーほーフードサービス販売促進部メニュー支援チームのメンバー

ホテルやレストランなどの外食産業に業務用食材を販売する、業務用食品卸のリーディングカンパニーとして37都道府県、海外3カ国に展開するほか、食品スーパー「とーほー

ストア」の運営や品質管理サービスなど食のあらゆるシーンを支えています。とーほーグループでは多くの女性が働いており、2005年からは「女性の活躍なくしてとーほーグループの成長なし」をスローガンに、女性活躍を支援しています。14年には昇格に制限があった一般職採用を廃止し総合職に一本化したほか、キャリア意識を醸成するためリーダー管理職候補向けの研修も実施。現在は15年度と比較して女性の管理職・リーダーが約2.5倍、リーダーの候補者層が約2倍まで増えています。

理解あるメンバーに囲まれて

グループ会社、とーほーフードサービスの販売促進部メニュー支援チームでチームリーダーを務める神吉里奈さんもその一人。3年前、産休から復帰して半年後にリーダーを任されました。メンバー5人はすべて女性で、飲食店に対し同社の商品を使ったメニューを提案しています。メンバーからは「やってみたいことを受け止めてくれる」と全幅の信頼を寄せられ、神吉さんも「チームで考えた提案が採用されたときがうれしい」と言います。子どもが小さいため短時間制度を活用しながらの勤務ですが、会社の支援や理解してくれているメンバーに助けられながら自分らしく働

ける環境で「想いを形にできる」現在の仕事にやりがいを感じています。



食品メーカーの商品だけでなく、とーほーグループオリジナルのプライベートブランド商品も多数開発しています

企業データ

■設立(創業) / 1947年
■資本金 / 53億4,477万円

■売上高 / 1,885億6,700万円 (2022年1月期)
■従業員数 / 4,738名

■平均年齢 / 43.8歳

にほんいーらいりりー

日本イーライリリー(株)

神戸市中央区磯上通5丁目1番28号 LILLY PLAZA ONE BLDG. ☎078-242-9000



公式サイト

日本イーライリリーでは、だれもが自分の目指すキャリアに挑み、それを周囲が応援する風土が浸透しており、管理職に占める女性の割合は約30%と製薬業界においてトップレベルです。

👑令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
👑くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



日本イーライリリー本社（神戸市中央区）外観

2004年から女性活躍推進の取り組みを本格化し、男女ともに活用できる日数制限のな

い在宅勤務制度や豊富に選べる育児・介護短時間勤務制度を導入する一方、リーダー育成のための研修制度の充実を図ってきました。また、上司の理解が重要との考えから、「入社して10年間に女性がキャリアやライフイベントでどのようなことに直面し悩みを抱えるのか、周りはどんなサポートができるのかといった情報をロードマップで示し、相談しやすい環境を整えています」と人事本部ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進部長の安原菜津子さん。女性管理職の比率は現在約30%であり、さらに高みを目指しています。

理解あるメンバーと、相談できる環境で

出産を経て21年1月に職場復帰した研究開発本部臨床薬物動態担当の三村花華さんは、働きながらもできるだけ娘のそばにいたいという思いから、周囲の協力も借り5～9時、13～17時を勤務にあてています。「当初はこんな変則的な働き方に理解が得られるだろうか」と不安でしたが、先輩ママ社員から「気にすることはない」と言われ吹っ切れたそうです。三村さんの出席が必要な会議は午後に設定をしてもらい、他の時間は準備や詳細検討などチームで進めるため柔軟に活用しています。また将来の自身が描くキャリアについても、上司から「ぜひチャレンジして



三村花華さん(左)と安原菜津子さん

みるべき」と応援の言葉をもらい、さらなる自身の成長と社会への貢献に向け日々奮闘しています。

企業データ

■設立(創業)/1975年

■売上高/2,476億円(2021年12月期)

■平均年齢/40歳

■資本金/127億7,250万円

■従業員数/約2,700名



同社では経営の中枢と位置付ける総務部門で働く社員16人のうち14人を女性が占めています。長い目でキャリアを積んでもらうためにそれぞれの良さを生かせる人材配置に力を入れています。

🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
🏆令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

取引先に感動を与える会社に



それぞれのよさを伸ばせる場所で、やりがいを持ちながら仕事に取り組んでいます

生活に欠かせない電気や空調設備などの設計から生産技術、品質技術、システム開発まで、ものづくりのはじめからおわりまでを技術力で支えている阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、取引先に感動を与えられる会社に」と後藤純次社長。そのためにその人の良さを生かせる人材の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めています。

それぞれの良さを生かして社員が輝けるように

新入社員は4～5カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、それぞれの良さを伸ばせる場所を見極めたうえで配属が決まります。入社3年目の四谷成子さんは人事に関するAI開発を行っています。Python(パイソン)によるデータ分析や予測に積極的に挑戦しており、「得意な数学を存分に生かしている」と感じているそうです。また、新入社員研修にも携っており、一人一人の良さを見いだす取り組みにも力を入れています。入社2年目の鏡田さよさんは、採用や広報などの企画を担当し「好きな考えることを仕事にでき、やりがいを感じる」と話します。イラストが得意な入社1年目の馬庭季香さんと連携し、女性の活躍、SDGsへの取り組みなど

の会社の魅力や、今後の展望を一目で分かるよう表現し、社内外に発信しています。「出産後、復職し生き生きと働く先輩方をお手本に、長く働き続けたい」と三人は長期的なキャリアビジョンを描いています。



人の育成、男女問わず働きやすい環境づくりにより、多様な人材が増え、イノベーションへつながっています

企業データ

■設立(創業)/1981年
■資本金/1,000万円

■売上高/16億円(2021年12月期)
■従業員数/242名

■平均年齢/36.7歳